

城北



平成 27 年 9 月 1 日 現在	
総世帯数	3,527
総人口	7,706
男	3,672
女	4,034

見聞 新田町町会 地区 明治維新に出来た町

不便でも住みよい町に

江戸詰藩士が帰郷した町

江戸時代、ここは田町・北馬場など屋敷町に囲まれた田んぼでした。そこに版籍奉還・廃藩置県で職を失い帰郷した江戸詰の藩士達が家を建て、新しい町をつくり明治 8 年に「新田町」としました。

当時それぞれの屋敷には本棟造りの家と池の付いた庭がありました。隣接する町にならって造られた道路や屋敷割りに面影を残しています。

その後、住民も入れ替わり、大火の影響もあってその頃の建物は稀ですが、それぞれの時代を物語る新田の家が整然と並び、閑静な住宅街を形成しています。

地域のオアシスだった町

南北の道路に沿って流れる



田町小学校第1回運動会

幾つかの水路には今も清らかな水が流れ、戦中戦後の食糧難の時代、この一帯の湧水は家や小学校の菜園に利用されました。

明治 43 年には松本尋常小学校の田町部(後に田町小学校)が設置され、城北地域の諸行事開催場所にもなりました。大正から昭和にかけて高山植物学の権威で、希少植物の保護をとなえた河野齢蔵もこ

の町の住人でした。その屋敷を訪問された皇族の車が敷きならした砂利道を走り、田町部の生徒は並んで送迎したという事です。

昭和 36 年、田町小学校が開智に統合されると、跡地にスーパーマーケットと総合病院、そして城北公民館ができ、この地域一帯が住みやすい所として評価されるようになりました。

城北公民館を拠点に活動

ところが平成 20 年スーパーが撤退、その後病院も移転し状況は一転しました。どの家庭にとっても大変な変化ですが、買物弱者であり健康に不安のある老人世帯へは格段のしわ寄せとなっています。

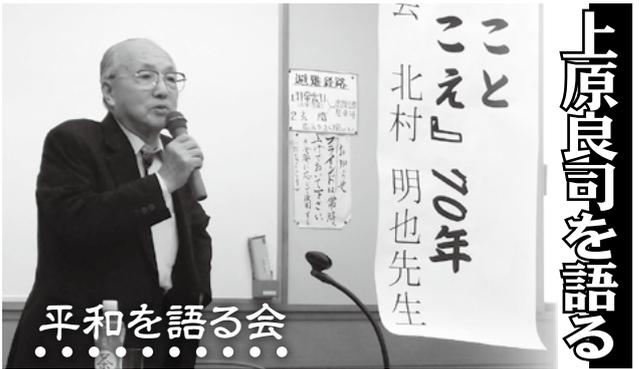
「新田町も少子高齢化が進み役員のなり手不足やこども会行事の先行きも心配ですが、撤退跡地への新設住宅や古民家を取り壊して建てた複合住宅などへの入居者は若い世帯が多い。幸い共働きの忙しい中でも町会活動などに積極的な人達も見受けられるので、こうした若い世代に近くにある城北公民館を大いに活用してもらいたい」と町会長さんは話していました。



田町小学校路

8 月 6 日に人権学習講座「平和を語る」会がありました。太平洋戦争の時、特攻隊員として戦死した上原良司の話を元信毎の記者で蟻ヶ崎東町会の北村明也さんに講演をさせていただきました。

上原良司は、教育者で俳人の祖父、医師の父の三男として北安曇郡池田町に生まれ、松本中学校を経て慶応大学在学中、学徒出陣により松本歩兵第 150 連隊に入営し、引き続き鹿児島県知覧の第 40 教育飛行隊、その後佐賀県目達原第 11 連成飛行隊に入隊しました。上原は昭和 20 年 5 月 11 日知覧飛行場より出撃し帰らぬ人となりました。



平和を語る会

上原良司を語る

こと「こえ」70年
北村 明也先生

明日ハ自由主義者が一人この世から去って行きます飛び立つ朝、それまで書き留めた『所感』を陸軍映画報道班員の高木俊朗が預かり、高木はその年の 6 月に軍部の検閲の目を盗み、直接郷里の両親と妹達に届けています。

大戦末期の学徒兵の遺書を集めた遺稿集『きけ わだつみのこえ 日本戦没学生の手記』が昭和 24 年に出版され、その最初に載ったのが上原良司の所感でした。

北村さんは「戦後 70 年が経ち、もはや『わだつみ』の意味さえ知らない若者も増えていきます。次世代に伝えていかなければならない大切な事実が失われてはなりません」と講演を結びました。

上原良司『所感』(部分)

飛行機に乗れば器械に過ぎぬのですけれど、一旦下りればやはり人間ですから、そこには感情もあり熱情も動きます。(中略)明日ハ自由主義者が一人この世から去って行きま

す。彼の後ろ姿ハ淋しいですが、心中満足で一杯です。

文化部主催学習会

国宝 縄文のビーナスと 仮面の女神を訪ねて

8月27日、33人の参加者で満席のバスの中、講師の後藤芳孝さんから事前学習を受けながら、あつという間に茅野市尖石縄文考古館に到着しました。



式住居址と土器や石器を発掘しました。最初は出土品を自宅で展示していましたが、昭和30年「尖石考古館」が開館すると初代館長に就任しました。

がら展示物を見て回りました。この地域には220もの縄文時代の住居跡があり、これら遺跡の発見には宮坂英式（みやさかひでし）の功績が大きいということでした。昭和5年から小学校の教員を勤めながら八ヶ岳山麓の発掘を行い、特に尖石遺跡は独力で多数の堅穴

宮坂没後、昭和61年に出土した縄文のビーナスが国宝に指定されたのを機に平成12年、現在の施設になりました。その年に出土した仮面の女神も後に国宝に指定されました。館内には他にも土器や石器など貴重な考古資料が2000点も展示されています。国宝の土偶2体については「このよ

うな完全な形で造形的にも優れた土偶はもう出てこないかもしれない」ということで、みんなケースの周りを回りビーナスと女神の姿を目にしつかり焼き付け写真に収めていました。復元された堅穴式住居と、この地名にもなっている尖石も見に行きました。八ヶ岳山麓の美しい緑の台地に立ち、5000年前の人々の暮らしに思いをはせました。午後は神長官守矢資料館と諏訪大社上社本宮を見学し、盛りだくさんの1日でした。白金町の森山さんは「個人で行くとただ見るだけですが、詳しい説明で勉強になりました。次も参加したい」との感想でした。

元気で！ 元気で！ 元気で！ 元気で！ 元気で！ 元気で！ 元気で！ 元気で！ 元気で！ 元気で！

喫茶なごみ

毎月第三金曜日の10時から15時の間城北福祉ひろばに喫茶なごみが開店します。始まりは健康づくり推進員のOGでボランティアをしたという発案から、「わっこの会」が生まれ、地域の人達にコーヒーを提供したいという事で始まり10年になりました。コーヒーは味と香りを大切にと北門大井戸の水を使い、3種類のシフォンケーキが用意されセツトで100円と財布にやさしい値段です。テーブルに季節の花が飾られると、開店と同時

時に近くの顔なじみの人が次々と集まって会話がはずみます。美味しいコーヒーとおしゃべりが何よりの楽しみと毎回80名位が来店します。

絶対ない笑顔

SPレコードを寄付したときに喫茶の事を知り、電車とバスを乗り継いで穂高から来店する吉川さん(90)は、5年近く一人で通って来る事が生かがいとなっていると話してくれました。またエリシオンのデイに通所している方々、赤ちゃんを連れて来る若いお母さんなどが来店すると周囲が笑顔でいっぱいになります。隔月にはイベントも



あり8月は手遊びやゲームを楽しみました。代表を務める松岡さんは「いつもこにこ明るく楽しいわっこの会になるように心がけているんです。なごみは利用する人、運営する人の生きがいとなっております。皆さんも美味しいコーヒーはいかがですか。季節によっては和菓子や抹茶もあります。ひろばは、元気がもらえます。

了れた土偶はもう出てこないかもしれない」ということで、みんなケースの周りを回りビーナスと女神の姿を目にしつかり焼き付け写真に収めていました。復元された堅穴式住居と、この地名にもなっている尖石も見に行きました。八ヶ岳山麓の美しい緑の台地に立ち、5000年前の人々の暮らしに思いをはせました。午後は神長官守矢資料館と諏訪大社上社本宮を見学し、盛りだくさんの1日でした。白金町の森山さんは「個人で行くとただ見るだけですが、詳しい説明で勉強になりました。次も参加したい」との感想でした。

いちごの風

～夏の思い出～



お泊り会 ▲



蟻ヶ崎北町会



蟻ヶ崎東町会 ▲



白金町会



西町町会



北馬場町会



田町町会



沢村町会



田町町会



深志ヶ丘町会